

令和4年7月5日

静岡県教育委員会 教育長 池上 重弘 様

ふじのくに県民クラブ会長 佐野 愛子

政調会長 阿部 卓也

文化力の拠点 PT 座長 中沢 通訓

### 県立中央図書館の建設・設計に関する要望について

我が会派は「文化力の拠点プロジェクトチーム」を立ち上げ、県外図書館への視察、関係団体との意見交換等を行い、会派意見を取りまとめましたので、以下要望といたします。

#### 1. 県立中央図書館としての使命、品格を有する図書館像について

- (1) 県教育委員会が公表している「基本構想」に沿って設計を進めるとともに、こどもの視点、学生の視点、それぞれに配慮し、障害をお持ちの方々、外国人の方々などあらゆる県民が利用できる施設づくりをすすめること。
- (2) 県内国宝レプリカ展示など郷土の文化力を示すゾーンや展示を実施すること。
- (3) 県内各地の地域の資料・冊子、情報などを集め、広く情報提供に努めること。
- (4) 県内最高の知識と文化と交流の拠点としての理念と機能を持つ施設とすること。
- (5) 表現の自由、民主主義を推進する旗手として、社会的・文化的な対話を醸成できる場、公共性、多元性、多様性が保証される場を持つ図書館を目指し、新しい理念ある図書館づくりに取り組むこと。

#### 2. 設計について

- (1) 「静かに過ごすゾーン」、「話ができるゾーン」、「飲食ができるゾーン」、「学習ができるゾーン」、「こどもへの読み聞かせができるゾーン」などの時代のニーズに沿ったゾーンを設置すること。
- (2) コロナ対策などにも対応できる柔軟性を持つスペース、配置、動線を心掛けた設計とすること。また、敷地の緑を多くすること、バリアフリーの機能の充実を図ること。
- (3) 県産材を使用するとともに、富士山展望テラスの設置を検討すること。
- (4) 中長期的な施設の維持管理を見据え、点検修繕がスムーズにできる設計をし、必要であれば、高所には管理用通路等も設置し、割高となる追加工事などをすることがないように配慮すること。
- (5) 各種災害対策を講じた設計とすること。

### 3. 電子図書館、デジタル化の充実について

- (1) 蔵書に IC タグを貼り付けるなど、貸出し、返却の自動化、盗難防止、蔵書点検などの省力化を図ること。
- (2) 電子書籍対応、スマホ、タブレットなどへの配信、身体的に読書が困難な人にとっても読み上げ機能、SDGs 視点での(誰一人取り残さない)設計などデジタル機能を充実すること。

### 4. その他

- (1) 直営、指定管理制度など運営形態については、幅広く意見を求め検討する。
- (2) グランシップとの連動性を意識し、大規模な会議室等、競合施設の設置ではなく、必要とされる施設づくりを調整すること。
- (3) 図書館建設後の文化力の拠点の整備についての方向性を、グランシップや静岡市施設なども含めた地域のグランドデザインも、関係機関と協議しながら検討していくこと。